

(1) 2015(平成27)年 9月24日発行

ROTARY CLUB OF ENGARU, AREA4, RID2500



遠軽ロータリークラブ

国際ロータリー 第2500地区第4分区

2015年 9月24日(木) 12:30～
本日のプログラム

職場訪問例会

遠軽町温水プール2階



2015 -16

RIテーマ

世界へのプレゼントになろう

<基本的教育と識字率向上月間>

2015～2016

Weekly Report No.1 1

2015年10月 1日(木) 12:30～
次回のプログラム

R友誌,会報,HPについて
メディア委員会

第2746回例会記録

司会: 佐久間 英昭 SAA

遠軽ロータリークラブ通常例会

日時: 2015年 9月17日(木)12:30～

場所: サンシャインホテル 2F

開 会 点 鐘: 木村 一則 君

国 歌:

R ソ ン グ: 我等の生業

四つのテスト:

木村一則 会長 スローガン: あなただけのロータリー・モーメントを!

◇本日のゲスト

遠軽信用金庫 本店営業部 中田 大貴 様①

特別養護老人ホーム 花の苑 三瓶 佑太 様③

遠軽高等学校インターアクトクラブ

顧問教諭 名越 美英 様⑤

会 長 川村 竜暉 様④

会長報告 木村 一則 君②

本日の例会はライラセミナーとインターアクトの活動報告です。ライラに参加された中田さんと三瓶さん、本当にご苦労様でした。また、遠軽高校インターアクトクラブの名越先生と川村君、お忙しい中お越しいただき有り難うございます。皆さんには、後程報告をしていただきますが、楽しみにしておりますので、宜しくお願いします。

先週の東堂ガバナー公式訪問例会、大変ご苦労様でした。

会長・幹事懇談会の話の中で幾つかの報告があります。東堂ガバナーのスローガンは皆さんもご存じの通り「もっとロータリーを楽しみましょう」ですが、特に、参加する楽しみを知ってほしいということを強調されていました。クラブの例会はもちろんですが、地区大会や国際大会に積極的に参加して、ロータリーってこんなことをしているんだ、ロータリーにはこんな人がいるんだというような発見をして楽しみのきっかけを見つけたいとのことでした。

来月の地区大会では、その一環として新入会員とRI会長(代理)との昼食会を行うそうです。

また、クラブ紹介の時には、会長は登壇してクラブの参加者をスクリーンに映し出し、顔を知ってもらおう設えのようですので、出席の皆さんは楽しみにしてください。

幹事報告 成田 弘明 君

1. 昨年2014-15年度の地区特別表彰として、クラブ部門で受賞することとなりました。

10月の地区大会で受賞式があります。



ライラセミナー報告後(2、3面)、参加者に木村会長より修了証書が授与されました



2014-15年度インターアクト短期海外研修の報告をして頂きました(4面)

2. 秋の全国交通安全運動街頭啓発の案内です。9月30日(水)午前10時より警察署前で行います。
3. 昨年度の決算書を配布しております。
4. 中学校野球大会の開会式は22日午前9時から・閉会式は23日午前10時30分予定ですので、それまでに集まって下さい。
5. ガバナー事務所より公式訪問の礼状。
6. 例会終了後に理事会を行います。

【名前の後の○数字は写真の中の番号】

RYLA 第35回 ライラセミナー in BIEI

2015年 9月
4日 5日 6日

第35回ライラセミナー報告



遠軽信用金庫 本店営業部 中田 大貴 様①
特別養護老人ホーム 花の苑 三瓶 佑太 様③

私たちは9月4～6日、美瑛町で開催されたライラセミナーに参加しました。

美瑛町は農業が盛んである一方、その農作地である丘の風景が美しいことから観光の町としても有名です。

そして、今年のライラセミナーのテーマが「地方創成」ということで、そのヒントがたくさん溢れている美瑛町の観光地をめぐりながら道東、道北、道央（旭川ぐらいまで）から異なった職業に従事する、おおよそ20代が集まって、3日間共に生活し、地方創成について考えて参りました。

それでは、まず3日間の流れを、写真を使ってお話したいと思います。

9月4日、12時前に会場である美瑛町の白金ホテルパークヒルズに到着し受付を行い、互いに健闘を誓いました。（写真上）

会場では、丸い机に1グループ8人～9人で、アドバイザーの方が2～4人ぐらい座り、グループ内の全員と顔を合わせられるような形になっていました。全部で8つのグループに分けられていました。



そして、開講式が行われまして、何人かの方に、お話頂いたお一人に、美瑛町の浜田町長がいらっしゃいました。

町長のお言葉で印象に強く残ったところは、「いつの時代も地域を支えるのは人であることから、ライラセミナーを通じて指導力や奉仕の精神を学んで、地域のリーダーとして成長できるように頑張ってください」と期待のお言葉をいただいたところです。

続きまして「地方創成」のディスカッションを、間に休憩を入れながら3時間ほど行いました。異なった地域であり、仕事も違う人たちの意見は大変勉強になりました。

こちらは、コンパクトデジカメの写真撮影講座の様子です。そこで、撮影の際は、順光、逆光、斜光の3つに気をつけてくださいとのことで、順光は光が被写体の前にある状態、逆光は光が被写体の後ろにある状態、斜光は光が被写体の斜めにある状態ですが、風景は順光で写すときれいに写り、人は逆光、斜光で写すと顔に影ができて、それなりの人でもかっこよく、かわいく写るとご指導いただきました。

次の日は朝からバスに乗りながら丘巡りをしました。こちら(写真左下)は青い池です。

その後、キャンプファイヤーを行いました。（写真右下）そこで、美瑛町のロータリークラブの人たちが、マジックを披露してくださいまして、みんなで盛り上がりました。その後も、ホテルでゲーム等をして楽しみました。

そして、最後にグループで発表の打ち合わせをして、翌日の最終日、各グループが発表を行いました。それぞれ個性あふれる発表で、大変勉強になりました。



テーマ

地方創生

もし、あなたが町長になったら、
疲弊した町をどのように創生させますか？

コンデジ撮影講座

プロカメラマンによる撮影講座。
これであなたも名カメラマン

遠軽町の地方創生の政策

遠軽信用金庫 中田 大貴 様



実際にライラセミナーで発表したことを遠軽町に置き換えてこちらでも発表したいと思います。

遠軽町の地方創生の政策として、自給自足大学を設立します。

政策の背景としては、地方の強みを活かすのはもちろんのこと、弱みを強みに変えて地方の課題を解決したいという狙いがあります。

こちらをご覧ください。地方の強み・弱み・機会・脅威を四分割にし、表にしたものです。

遠軽町の強みは豊かな自然、一次産業（農業・林業など）、そして食べ物はおいしいという良さがありますが、その反面、少子高齢化であり、雇用問題、後継者問題、はたまた都市部への人口の流出など、遠軽町は人口減少が進んでいます。そこで、強みである農業や林業を学べる学校をつくりたい。普通の農学校等と違う所は、農業や林業に興味のある若者はもちろんのこと、学びたくてもお金がなくて学校に通えない若者も学生として迎え入れ、人口減少を解決しようと考えました。

お金がなくても通える大学ということで、授業料0円を掲げます。その代わり学生は、農業や林業をその事業者の方から実習として学びつつ、生活費をいただき生活します。一方で、事業者は若くて労働力のある人材を確保できます。これにより、人手不足や人口減少の解決に繋げることができると考えました。

次に、自給自足大学という校名なので、校舎をつくることから始めていき、それが落ち着いたら、農作物を育て、それを加工し、高付加価値製品の製造・開発販売というように0から始めて、6次産業化を目指します。また、学生はただ実習（仕事）に取り組む訳ではなく、日々データを集め、6次産業化に繋がる研究を行い、将来的には農学、林学だけではなく、食品加工学、食品衛生学や、流通経済学、はたまた観光学というように学部も幅広く展開して、町の地方創成の場で

ライラセミナーに参加して

特別養護老人ホーム 花の苑 三瓶 佑太 様③



今回、ライラセミナーに参加する事になったのは、私が仕事で悩んでいる時に張江施設長から「ライラセミナーに参加してみないかい」と声をかけて頂いたのがきっかけでした。

ライラセミナーでは、18歳から30歳までの色々な職業の人が集まり、今回は「地方創生」と言う1つの大きなテーマに沿ってグループでそれぞれの町、それぞれの職業からの視点で話し合い、最終日に発表する、といった流れで3日間にわたり、初めてお会いした方たちとお互いの仕事の話や町の話、それ以外にもたくさんのお話をする事ができました。

普段は、職場内の職員と仕事の話をしたり、友人と話をする事がほとんどないのでとても新鮮な気持ちで3日間のセミナーに参加する事ができました。

グループワーク以外にも開催地である、美瑛町の観光や、セミナー参加者の交流を深める為にロータリークラブの方々がたくさんの催し物を用意してくれていました。

2泊3日はあっという間でしたが、ライラセミナーに参加し、色々な職業、町の方とお話をするという貴重な経験をさせて頂くことができ感謝の気持ちでいっぱいです。

そして、セミナーが終わる頃には自分の中にあった仕事の悩みもいつしか解消されていました。

今回のセミナーに参加して得た事をしっかりと今後の仕事や、自分自身のステップアップに生かして、地域に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。

本当にありがとうございました。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

あり、それを考える場にもできると考えました。

以上が遠軽町の地方創成の政策です。



インターアクト短期海外研修報告

2015年3月24日～27日

北海道遠軽高等学校インターアクトクラブ

会長 川村 竜暉 様(3年)④

今回の台湾での海外研修は、3泊4日と短いながらも、興味深いことが数多くあり、非常に充実したものとなりました。

まず驚いたことが、交通に関してです。台湾では、クルマの値段が高いらしく、クルマよりもバイクの方が多く走行していました。そのため、道路では常にバイクの音が鳴り響いています。また、スピード規制も日本とは違うのか、高速道路並みのスピードで車が走ることもありました。その瞬間、日本の交通法規や道路整備がしっかりしていることに思い及びました。

台湾の繁華街では、日本の祭りのような出店がいくつも並んでいました。射的やフルーツ店、かき氷店まであり、そのエリアではいつも祭りのように賑わっているとのことでした。私はこの場所で現地の人から試食品をいただきました。言葉が通じなくても親切にしてくれる人がいて、嬉しかったです。

台湾の学校を訪問したときには、現地の学生たちと交流を深めました。自分と同年代であるにもかかわらず、使う言葉はまったく異なるので、文化の違いを改めて感じました。ここでは、台湾風の水餃子とスープを協力し合って作りました。

お互いが片言の英語とジェスチャーで何とかコミュニケーションをとることができました。生徒のうち数人と一緒に写真を撮ったり、プレゼント交換をしたりと(写真左)、国境を越えた交流を体験することができました。

今回の研修を通して、異国の文化に触れ、世界は本当に広いのだなと実感しました。他には一体どんな地域があるのか知りたくなったので、機会があれば、今回訪ねていない所にも行きたいと思っています。

最後に、この研修を無事に終えられたこと、この研修に参加する機会を与えていただいたこと、お世話になったすべての方々に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

■2014-2015年度 R I 2500地区インターアクト短期海外研修は、白幡博(釧路RC)地区インターアクト委員長他2名の引率団とインターアクター8名で3月24日、新千歳空港から台湾へ出発。

新北市私立崇光女子高級中學インターアクトクラブと交流(写真右)、士林夜市、台北私立動物園、故宮博物館、TAIPEI101(高さ501m)等々を見学して、27日、帰国しました。

ニコニコBOX

親睦活動委員長 佐藤 直也 君

2015-16年度 合計120,000円

☆閉会点鐘：木村 一則 君

☆今月会報担当：黒坂 貴行 君

2015-16_11th-03

出席報告	例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	メイク アップ	出席率	無断欠席
出席委員長 棚橋 忠 君	9月10日	37	33	28	1	87.9%	
	9月17日	37	33	28		84.9%	

編集・発行：メディア委員会	
委員長：伊藤太一	副委員長：東海林勉
委員：石井定男 黒坂貴行 須藤順一 渡辺 勉 乾 禧實	

2015-16年度 国際ロータリー
会長：K. R. ラビンドラン

第2500地区ガバナー

東堂 明(旭川北RC)

第4分区ガバナー補佐

橋詰啓史(雄武RC)



遠軽ロータリークラブ 会長：木村一則 副会長：渡辺 勉 会長エレクト：黒坂貴行

幹事：成田弘明 会計：島田光隆 SAA：佐久間英昭 直前会長：上田 稔

◇創立：1959年9月12日／認証1959年11月7日 URL：www.engaru-rc.com

【事務局】〒099-0415 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目 遠軽商工会議所内

Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134 E-mail：info@engaru-rc.com

【例会場/日】北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目 ホテルサンシャイン Tel 0158-42-1151 毎週木曜日12:30～13:30 *第3木曜日は夜間例会 18:00～(19:00)